

【講座のねらい】

へき地・小規模校における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた、1人1台端末等を活用した学習指導の在り方について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

【対象】 ・へき地、小規模の小・中学校に勤務している管理職及び教諭

・へき地、小規模校教育に関心のある小・中学校の管理職及び教諭 【定員】 20名



【研修日程・内容】

① 1h
6月下旬～7月上旬
オンデマンド型研修
「講義」

- へき地・小規模校における現状と今後の授業の在り方

② 3.5h

7/11

遠隔型研修Ⅰ

「講義・協議・演習」

- へき地・小規模校における1人1台端末等の活用
- 遠隔合同授業など多様な学習形態の活用

8月下旬～12月上旬
職場実践

- 自己研修
- 道へき地・複式教育研究大会への参加等、関係機関と連携した取組

③ 1h

12/11

遠隔型研修Ⅱ

「実践交流・協議」

- 実践交流

講師

① 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターセンター員

鈴木 淳 氏

② 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長

川前 あゆみ 氏

道教育大へき地・小規模校教育研究センターとの連携